

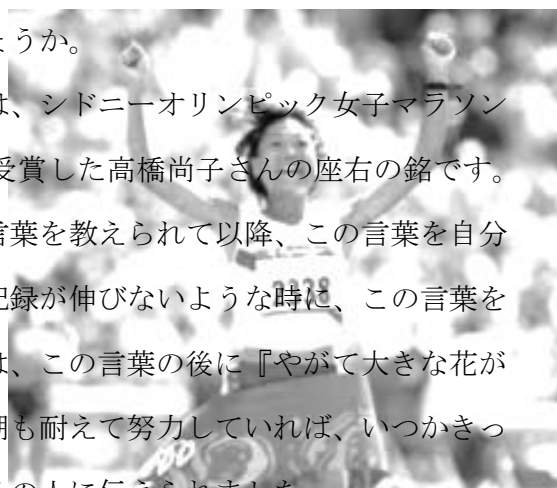


『何も咲かない冬の日は・・・』

校長 田代 雅規

まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では2月4日の『立春』も過ぎ、春を予感する季節となりました。来る春に備えて、今何をすべきなのでしょう。

『何にも咲かない冬の日は、下へ下へと根を伸ばせ』は、シドニーオリンピック女子マラソンの金メダリストで、女子スポーツ界で初の国民栄誉賞を受賞した高橋尚子さんの座右の銘です。高橋選手は、岐阜県立岐阜商業高校時代の恩師からこの言葉を教えられて以降、この言葉を自分の練習の支えとしていたようです。いくら練習をしても記録が伸びないような時に、この言葉を自分に言い聞かせながら頑張っていたと言います。恩師は、この言葉の後に『やがて大きな花が咲く』と付け加えたそうです。以来、どんなに厳しい時期も耐えて努力していれば、いつかきっと報われて大きな成果につながるという意味となり、多くの人に伝えられました。



この『何にも咲かない冬の日は、下へ下へと根を伸ばせ』の言葉は、京都大徳寺大仙院の尾関宋園和尚が「平常心」という本の中で書いたもので、誰かのために書いた言葉ではなく、昔から大仙院に伝わる言葉だそうです。そして、この言葉の本当の意味は、「いつかとか、将来のために頑張るのではなく、今このときを最高に生ききる。」という意味があるそうです。「目標をもつ、高い志をもつ、そのために今を頑張る、いつか努力すれば報われる。」という言葉はよく言われます。しかし、それが行き過ぎると、先のことばかり考えて、今本当にやるべきこと、大切にしなければならないことが忘れがちになります。やがて来る春や夏のためでなく、冬の今は冬にしかできないことに全力を尽くす、いつか未来のためではない、今のために最高の努力をする。『何にも咲かない冬の日は、下へ下へと根を伸ばせ』の言葉の本当の意味は、そのことにあるのだと思います。高橋選手も実は、苦しい練習を続けること自体に遣り甲斐をみつけて走り続けたのではないのでしょうか。その結果として、オリンピックの金メダルや世界記録の達成につながったのだと思います。緑野中学校の生徒にも、勉強も部活動も来年の受験や春の大会に備えて努力するのではなく、まだ寒さの残るこの時期に今しかできない勉強や練習に全力を尽くして欲しいと思います。そして、その努力が将来の目標達成につながってくるのだと思います。

『何にも咲かない冬の日は、下へ下へと根を伸ばせ』、頑張れ！ ・ ・ ・ ・ ・ 緑野中生

平成28年度 学校に関する生徒アンケート 集計の結果

全校生徒を対象に、学校生活に関するアンケートを実施しました。20項目中の18項目で肯定的な評価（「そう思う」「ややそう思う」という回答の合計）の割合が80%を超えていました。昨年より全ての項目の数値が上がりました。中でも次の9項目は90%を超えていました。

No.1 「学校生活は楽しい。」	95%	(+7%)
No.2 「緑野中学校で良かった。」	94%	(+3%)
No.5 「授業中は、しっかりと話を聞き、考えようとしている。」	94%	(+4%)
No.6 「先生は、授業中の生徒の態度や言動についてよく指導している。」	91%	(+4%)
No.13 「生徒や先生のあいさつはよくできている。」	93%	(+3%)
No.15 「先生はいじめなどのない楽しい学校・学級づくりに努めている。」	93%	(+14%)
No.17 「学校は校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。」	94%	(+9%)
No.18 「生徒会活動や委員会活動は充実している。」	94%	(+7%)
No.19 「体育祭・学芸発表会・宿泊行事などの学校行事は楽しく充実している。」	94%	(+1%)

以上の項目は、本校が目指す生徒像に関する指標であり、探求・創造・共生の精神がしっかりと培われていることがわかります。特にNo.15のいじめの対応について、昨年よりも14%も評価が上がりました。全教員でいじめの早期発見・早期対応・早期解消に取り組んできたことが生徒にも理解されているのが分かりました。

また、学校生活の根幹を成す授業に関する項目では、以下の結果となりました。全ての項目で昨年よりも大きく上がりました。今年度は、生徒の興味や関心を高めるようにICTを活用した授業に積極的に取り組みました。来年度は、東京都の事業の認定を受け、生徒用のタブレットパソコンを40台借りられることになりました。少人数指導も工夫し、生徒が楽しく・分かる授業を実施できるように全教員で努力していきます。

No.6 「先生は、授業中の生徒の態度や言動について指導している。」	91%	(+4%)
No.7 「授業の進め方は適切であり、授業は良く分かる。」	88%	(+8%)
No.8 「授業は、生徒が意欲をもって授業に参加できるように工夫されている。」	87%	(+4%)
No.9 「数学・英語の少人数授業は、自分にとって効果があった。」	84%	(+8%)
No.10 「先生は、生徒を公平に評価・評定している。」	85%	(+7%)

一方、最も今回の生徒アンケートで肯定的な評価が低かった項目は、No.11「家庭で毎日勉強している。」です。結果を学年別に示すと下の表のようになりました。

1年生	2年生	3年生	学校全体
53% (+18%)	35% (-7%)	73% (-4%)	54% (+2%)

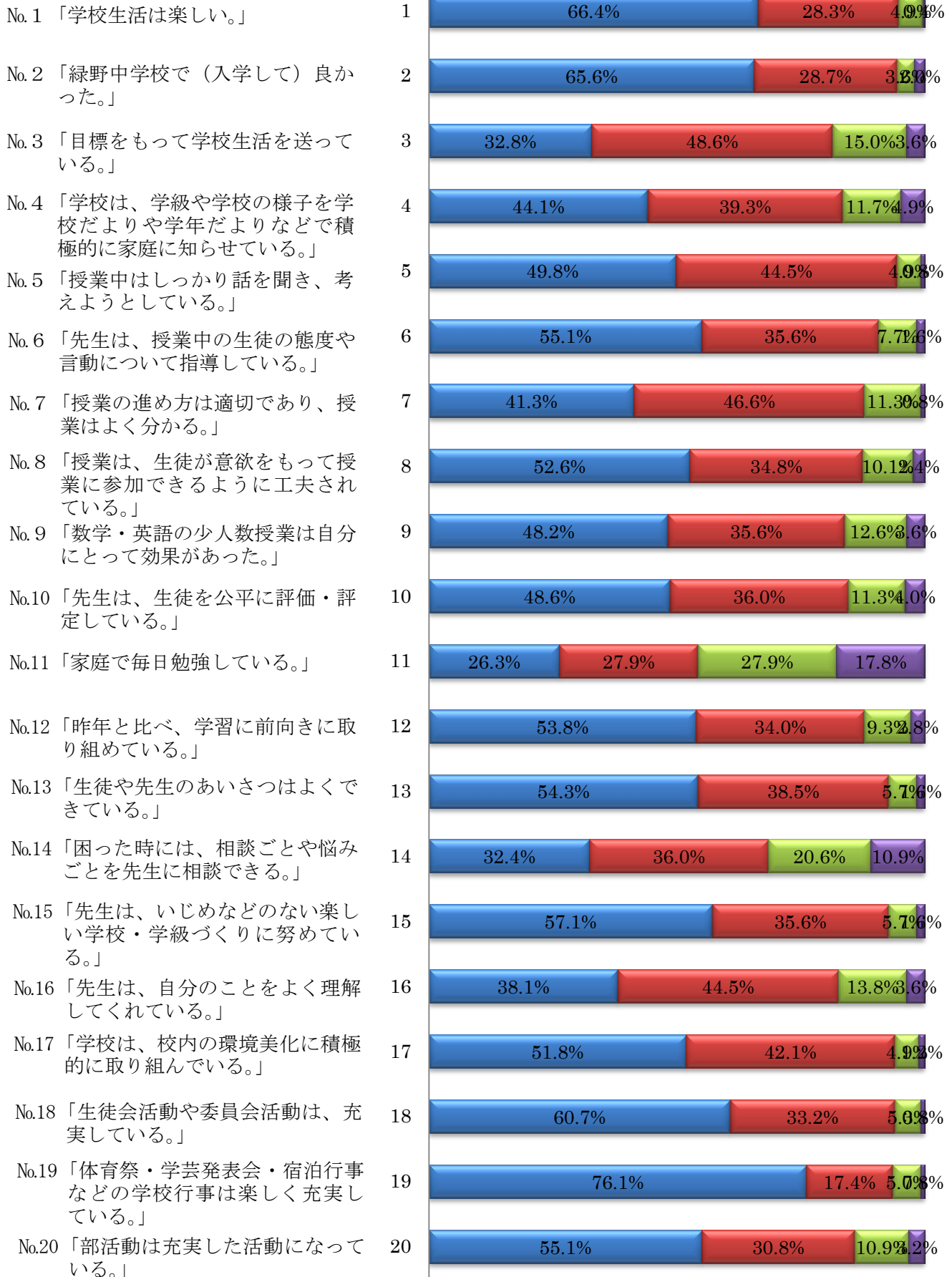


改善のための視点として、No.3「目標をもって学校生活を送っている。」の肯定的評価が81%（+7%）であることに着目します。この項目は、家庭で学習に取り組む態度の育成にも密接に関連します。中学校卒業後の進路や将来の生き方等について、明確な目標や志をもつことは勉強の原動力にもなります。学校としても今後ご家庭との連携を深めて、進路指導の充実を図っていきます。併せて、教育相談の一層の充実にも学校全体で取り組んでいきます。アンケートでは、No.14「困ったときには、相談ごとや悩みごとを先生に相談できる。」は68%（+11%）でした。学年が進むにつれて肯定的な評価が高くなっていて、信頼が築かれていっていることもわかりますが、これからも教育相談の充実に努め、困ったときに先生に相談できる体制の構築に努めていきます。

生徒アンケート全校集計結果

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

【評価項目】



1年生は、校外での学習として、横浜の班行動を行いました。野方駅に集合して、副都心線を利用して、みなとみらい駅や元町・中華街駅に行きました。

多くの班は、みなとみらい地区から山下公園、そして中華街へ班行動をしました。この日は絶好の天気ですと汗ばむほどの陽気でした。1学年のご家庭にPTAのマメールでこの日の横浜社会科見学の様子を配信しましたのでここに紹介します。

10:45 みなとみらい駅から全班、見学場所へ。山下公園、赤レンガ倉庫へと進みました。寒くもなく、良い観光日和です。私（副校長）は横浜美術館にきています。C組3班と一緒にになりました。太宰治や司馬遼太郎の写真展に生徒たちは、見入っていました。

11:31 赤レンガ倉庫にきています。ここではイチゴフェスティバルという催し物をして、長蛇の列が出来ています。他校の中高生も多く来場しており、私服姿でうちの生徒がどこにいるか分かりません。ここは、かつては廃屋倉庫でした。「あぶない刑事（デカ）」の柴田恭兵さんが走るロケ地、アニメ「めぞん一刻」のシーンを思い出すのは、私だけでしょうか？ 30年前の話です。今では、きれいな観光スポットになりました。

12:56 開港資料館、山下公園から中華街まで歩いてきました。暖かい陽気です。高齢者の方のツアーも多いです。中華街は大勢の観光客です。有名な吉兆のアサリそばで昼食、校長先生おすすめのザーサイをお土産に買う予定です。各班からのトラブルの報告はありません。

14:53 元町中華街駅です。これから各班デジカメを回収します。一足早く新宿3丁目から西武新宿駅までの誘導係りのためみなとみらい線の急行に乗ります。

17:00 2つの班が副都心線に乗り遅れましたが、最後の班と西武新宿線に乗り、野方駅に向かいます。野方駅で最終のチェックを受け解散となります。時間遅れはありましたが無事、事故ケガなく横浜社会科見学終了です。生徒が持つお土産袋は中華街のものが多いようです。これでメール配信を終了します。

お知らせ掲示板

第8回 中学生東京駅伝大会

2月5日（日）に味の素スタジアムにおいて、第8回中学生東京駅伝大会が開催されました。大会には、区や市の代表50チームが参加しました。女子は26位、男子は19位となり、男子は過去の大会を通じて最高の成績を残しました。



<大会個人結果>

	氏名	区（距離）	記録
女子	石井 日菜 さん	第5区 (1.5km)	6分00秒
	吉本 わかな さん	第6区 (1.5km)	6分01秒
	下村 倫子 さん	第11区 (2.0km)	10分05秒
男子	渡邊 真聖 君	第6区 (2.0km)	7分06秒
	新川 祐太郎 君	第13区 (3.0km)	11分00秒
	森田 峻介 君	第14区 (3.0km)	10分39秒
	相馬 怜太 君	第16区 (3.0km)	10分44秒